

gakuto

学塔



Spring 2017

No.138



クロスアップ
自著を語る。
「文化を育むノルウェーの図書館：
物語・ことば・知識が踊る空間」

ここから広げよう
各学部の先生からのオススメ本

From Students
時間外開館担当の
職員さんに聞きました!

ブックロウのPick Upコーナー!!!
三重県立図書館連携展示
秋の文献検索講習会開催報告
電子ブックキャンペーン実施
職場体験学習の受入

News!
春の図書館ツアーを開催します!

特集
アクティブラーニング
と図書館

News! 春の図書館ツアーを開催します!

春の図書館ツアーを開催します!編入生や大学院生を対象に、図書館ツアーを行います。ぜひご参加ください。
※学部新入生の皆さんは、このツアーとは別に教養教育の授業「スタートアップセミナー」で図書館ツアーに参加いただけます。

4月 10日(月)・12日(水)・14日(金) 開催時間 12:15~12:40
集合場所 図書館1階玄関ホール



貸出冊数等の変更(試行)について【11/1~】

学生満足度調査等でご要望のありました、学部学生・大学院生に対する貸出冊数の増冊につきまして、次のとおり試行を実施中です。延滞図書が増加等、見直し要件によっては、試行案から現行に戻すことがあります。詳しくは、図書館HPのお知らせをご覧ください。

- おもな変更内容
- 学部学生の貸出冊数を5冊(+卒業研究5冊)から10冊(卒業研究用を含む)へ
 - 大学院生の貸出冊数を10冊(+論文作成10冊)から20冊(論文作成用を含む)へ

教員執筆寄贈図書リスト (2016年7月~12月分)

- 石川輝 生物資源学部教授/『有害有毒プランクトンの科学』
今井一郎,山口峰生,松岡数充編, 恒星社厚生閣, 2016.2, 図・開架・図書 [666/Y96]
- 和田崇 教育学部講師/『演歌の明治~大正テキヤ:フレーズ名人・添田唾蟬坊作品と社会』
社会評論社編集部編;添田唾蟬坊詞, 社会評論社, 2016.8, 図・展示棚 [779.7/E62]
- 楠木宏 教育学部非常勤講師/『指示は1回:聞く力を育てるシンプルな方法』
楠木宏著, 東洋館出版社, 2016.3, 図・展示棚 [374.1/Ku91]
- 荻原彰 教育学部教授/『環境教育学の基礎理論:再評価と新機軸』
今村光章編;井上有一[ほか]著, 法律文化社, 2016.7, 図・展示棚 [519.5/Ka56]
- 藤田昌志 国際交流センター准教授/『明治・大正の日本論・中国論:比較文化学的研究』
藤田昌志著, 勉誠出版, 2016.10, 図・展示棚 [361.6/F67]
- 藤田昌志 国際交流センター准教授/『日中近代比較文学研究の空間と可能性(1900-2010):論集:愛知大学孔子学院創立10周年記念シンポジウム』
責任表示:愛知大学孔子学院;陳,朝輝, 愛知大学孔子学院, 2016, 図・展示棚 [901.9/N71]
- 川口祐二 社会連携客員教授/『海女をたずねて』
川口祐二著, ドメス出版, 2016.11, 図・展示棚 [661.8/Ka92/4]
- 奥村晴彦 教育学部教授/『Rで楽しむ統計』
奥村晴彦著, 共立出版, 2016.9, 図・展示棚/図・開架・図書 [418.8/W85/1]
- 吉村英夫 元非常勤講師/『愛の不等辺三角形:漱石小説論』
吉村英夫著, 大月書店, 2016.11, 図・開架・図書 [910.28/N58]
- 吉村英夫 元非常勤講師/『伊丹万作とその系譜:異才たちの日本映画史』
吉村英夫著, 大月書店, 2015.9, 図・開架・図書 [778.21/Y91]

【見かた】 ●寄贈者 所属/『書名』著者名, 出版社(者), 出版年月[請求記号]

編集後記



●表紙の写真:電子ブックキャンペーンのポスター展示の際の様子です。電子ブックはパソコンやスマホからも読むことができます。手軽に使用して便利ですので是非一度アクセスしてみてください。

新入生の皆さま、入学おめでとうございませうこれからの生活に、胸を躍らせていらっしゃると思います。学習はもちろん、趣味やサークル活動などを充実させて、学生生活を楽しんでください。
さて今号の特集は、「アクティブラーニングと図書館」です。「アクティブラーニング」という言葉を耳にされたことがあるかと思いますが、特集では、図書館を活用した能動的(アクティブ)学習(ラーニング)の一例をお知らせしました。課題などで問題解決する際に参考にしていただくと幸いです。

ここから広げよう!!各学部の先生からのオススメ本

READING LIST

人文学部 内野広大 先生



西田幾多郎 著
『善の研究』

岩波書店、1979年10月出版
【所在】 図・開架・PB
【請求記号】 121.9/N81

「善とは何か」。本書は、生まれてから死ぬまで影のように回るこの問いに対して、機械的に執行すれば事足りるような正しい答えを示してはくれない。しかし、そうした問いに直面せざるを得なくなり、他ならぬ自分自身の尺度にまで遡ることを余儀なくされる時——それは人権や平和等が痛切に自分の問題となる時でもある——、その長き行路にあって、足元を照らしてくれる一書である。

教育学部 松本昭彦 先生



吉海直人 著
『百人一首の正体』
(角川ソフィア文庫)

KADOKAWA、2016年10月出版
【所在】 図・開架・PB
【請求記号】 911.147/Y89

「小倉百人一首かるた」で有名な『百人一首』であるが、藤原定家を選んだ『百人一首』そのものについては、意外に知られていない。その成立や定家の選歌意識、各歌の見所を解説するコンパクトな一冊である。著者は、百人一首関連のグッズも収集しており、現代に至るまでの模倣作品・関連商品の紹介も楽しい。付録には、『百人一首』と密接な関係を持つ『百人秀歌』独自収載歌を載せる。

医学部 成田正明 先生



成田奈緒子 著
『睡眠時間を削らず、塾にも行かず、現役で国立医学部に合格した私の勉強法』

芽ばえ社、2016年12月出版
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 379.9/N52

あのノーベル生理学・医学賞受賞の山中伸弥先生(著者の同級生)も帯で「本書の勉強法は一生使える勉強法だと思います」と推薦している。「なおちゃんのノートはいまだに大切に保存しています」とも。山中伸弥博士が絶賛する著者のノートは果たしてどんなノートなのか。最後の山中先生の書下ろしコメント文も必見!この生活法は大学生になった今からでも決して遅くない。

工学部 成瀬央 先生



村上泰司 著
『入門光ファイバ通信工学』

コロナ社、2003年12月出版
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 548.8/Mu43

現在の情報化社会、また今後の「モノのインターネット」社会は、光ファイバ通信システムが基礎となっている。本書は、光ファイバ通信技術やシステムについて学部学生に向けて書かれた入門的専門書であり、光ファイバや関連する部品、電気信号からの光信号への変換、また逆の変換のためのレーザや受光器について、構造から原理までわかりやすく記載されている。

生物資源学部 関谷信人 先生



鶴見 和子 著
『南方熊楠:地球志向の比較学』
(講談社学術文庫)

講談社、1981年1月出版
【所在】 図・書庫・松田文庫
【請求記号】 289.1/Mi37

南方熊楠。我國民俗学の祖である柳田国男と並び称されるだけでなく、科学雑誌Natureで歴代最多の論文を発表した人物である。昨今、我国ではグローバル人材の育成が急務の課題と言われる。本書は、明治時代に生まれた熊楠が文理融合的な思考を身に着け、紀伊田辺を拠点にしながらも世界規模で活躍した軌跡を丹念に描く。巨人熊楠の痛快な人生を知り、今日の課題への光明を見出して欲しい。

教養教育機構 和田正法 先生



三橋淳編 著
『虫を食べる人びと』

平凡社、2012年5月出版
【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 383.8/Mi63

初めこそ「うわ〜」とうめきながら読むことになるだろうが、虫がいかにか一般的な食べ物なのかを思い知らされる。食糧難が起きたら、キミは虫を食べるか。人類は虫を食べてきたし、今も食べる人がいる。と言ってみたものの、とりあえず私が皆さんにおススメしたいのは虫を食べることではなく、それにも引けを取らない知的雑食性である。普段読まなさそうな本を手にとってはいかがか。

『文化を育むノルウェーの図書館：物語・ことば・知識が踊る空間』

〈マグナスセン矢部直美、吉田右子、和気尚美著 (新評論)、2013.5)〉

【所在】 図・開架・図書
【請求記号】 010.23889/Ma29



三重大学地域人材教育開発機構助教 和気尚美 先生

■エスニックマイノリティに対する図書館サービスの研究
—まずは、先生の現在の研究のご紹介をお願いします。
ソーシャル・マイノリティに対する図書館サービスについて研究をしています。特にこれまで、移民や難民、先住民等のエスニック・マイノリティに対する図書館サービスについて研究してきました。

■ノルウェーの図書館の様々なサービスとノルウェーの市民の読書生活
—ご著書『文化を育むノルウェーの図書館』の物語・ことば・知識が踊る空間の紹介をお願いします。
5章の執筆を担当しています。ここでは移民・難民に対する図書館サービスに加え、障害者サービスと先住民に対する図書館サービスについても触れています。この本を執筆する際、ノルウェーの図書館がどんなサービスを提供しているか、のみに焦点を当ててではなく、ノルウェーの出版流通



上はアンマークの移民に
対する図書館サービスの
ブックリストなどの資料。
右は、デンマークの
コペンハーゲンの市立図書館
で配付しているキャラクター
「Book to all」(想像し
る全てがある)のカー
トと風船だそうだよ。
「Book to all」と書かれた
資料の(丸に点)の文字
は、ノルウェーの図書館
で提供されている
「すべての人のための
図書」のマークだよ。



和気尚美先生 プロフィール
三重大学地域人材教育開発機構助教。筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程修了。博士(図書館情報学)。人と人との出会いの場、集いの場としての図書館の機能に関心を寄せ研究に取り組む。主な共著書に『高齢社会になく図書館の役割:高齢者の知的欲求と余暇を受け入れる試み』(学文社)など。

や、市民の読書生活や本との関わり方も含めながら、ノルウェーに住んでいる人の暮らしがどう見えるような形でノルウェーの図書館を論じようかと共著者と共に話し合いました。そのため、序章にノルウェー社会全体の概要があったり、6章で読書事情と出版事情に触れていたりします。
5章は便宜上、障害者サービス、移民サービス、先住民サービスと分節して論じていますが、それぞれのサービスが部分的に相互に重なり合っているというのがノルウェーの図書館サービスの特徴です。
それを体現しているのが、「すべての人のための図書」です。「すべての人のための図書」とは、通常の活字を読むことが困難な人を対象に提供している、分かり易い表現・フォントを用いた図書や、録音図書を意味しています。
「すべての人のための図書」は、障害者サービスとしてだけでなく、全ての利用者に対して提供されています。平易な表現やフォントで記された図書は、読みに困難のある人のみならず、語学学習中の移民や難民、ひいては、あらゆる人にとって分かり易いという考えが根底にあります。図書館サービスにも、ユニバーサルデザインの考え方が浸透しているというところが、ノルウェーの図書館サービスの特徴です。そんな点が少しでも本書を通じて伝われば良いなと思っています。
■大学図書館や、公共図書館を上手に活用しよう!
—三重大学生へメッセージをお願いします。
何かやるうかなと悩んでいるなら、足を動かして、興味のあるフィールドに出てみることをおすすめしたいです。
「Althvad du kan teake dig(想像しうる全てがある)」というのは、アンマークのコペンハーゲン市立図書館のキャラクター「コビー」です。悩んでいることについて、考えうる全てのことを図書館に尋ねてみる事ができます。何かアクションを起こしたい時に、ヒントを求めるとして、大学図書館や街の公共図書館を活用してもらえたらと思います。

図書館は大きく提供側・利用側の2つの視点から捉えることができますが、私の研究は、図書館という場の意味を、図書館の管理側やサービス提供者に限定した視点から制度論や経営論の中に見ていくのではなく、また利用者側からの視点に限定するのではなく、双方の力学が作用する相互作用的な関係の中に見ていくこととするものです。加えて、移民政策や文化政策、移民や難民の出身社会との関係等も見ながら研究を進めています。
写真の資料は、移民に対する図書館サービスに関する資料です。私が主な研究対象にしているデンマーク、スウェーデン、ノルウェーの3か国は、移民・難民に対する図書館サービス専門のナショナルセンターを国レベルで設置しています。ナショナルセンターが、図書館の図書館になっていて、地域レベルの公共図書館で移民・難民に奉仕する支援をしています。多言語資料についてもナショナルセンターが持っており、地域の図書館に貸出しています。

特集 アクティブラーニングと図書館

大学の授業では、講義型の授業だけでなく、学生自身が書いたり話したり発表したりするアクティブラーニング型の授業も多くあります。

その中で、特定の問題やテーマについて調べ、レポートやプレゼンテーションで発表する機会もあるでしょう。

こうした問題解決型の学習 (PBL) のプロセスでは、情報を効果的に利用することが不可欠です。

ここでは、問題解決のプロセスと利用できる図書館サービスの流れを示しています。

みなさんの学習に
役立ててください!!

読書、レポート作成、
情報検索、ディスカッションなど
みなさんの「予習・復習」などを
サポートするのが、
大学図書館なのです

大学では
「予習・復習」が大切です!

大学の学習は単位制度が基本です

- 「シラバス(授業計画)」を読んで計画を立て、履修する科目を決めます。
- 2単位※=90時間の学習が必要
=講義(15回・30時間)+予習・復習(60時間)
※1科目2単位の場合



用語や物事を調べる

辞書や百科事典などで、問題やテーマの概略をつかんだり、キーワードを調べるのがおススメです。
【図書館】2F・参考図書コーナーへ
【webで探す】「JapanKnowledge」を利用してみよう

1 テーマを決定する

- 特定の問題やテーマについての基本的な情報を得よう
- 問いをたてよう

三重県に関する資料を調べる

三重県に関する資料(地域資料といえます)は、三重県立図書館や三重県内の市立図書館でも利用できます。テーマに関連する博物館や美術館なども確認してみよう!



2 情報探索の手順を考える

- その問いやテーマについて、どのような情報を利用できるのかを確認しよう
- 探し方が分からないときは、参考調査カウンターに相談してください(平日9:00~17:00)



図書館1階



3 情報を検索・入手する

- その問題やテーマについてこれまでに研究されてきたことを調べよう

本を入手する

- 三重大の本を探す: → へ
OPACを検索 分類番号の書架をみても探せます。
- 電子ブックを探す: → へ
図書館のホームページから、電子ブックを検索する。
- 三重大にないときには…
県内の本を探す: 三重県内蔵書検索
全国の本を探す: Webcat Plus, CiNii Booksを検索 → へ
他の大学から取り寄せる。購入のリクエストをする。



分類番号



電子ブック

そのテーマについて研究されてきたことを調べる

- 【図書館】雑誌コーナーで雑誌を探す
【WEBで探す】→ へ
- CiNii Articles (国内論文)・JDreamIII (科学技術系論文) など
- 【図書館】新聞コーナーで読む
【Webで探す】
- 聞蔵II (朝日新聞)、東京新聞・中日新聞記事データベース

まずは
論文のタイトルを
追っていくだけで
いろいろなアイデア
を得られます



もっと詳しい情報検索方法を知る

図書館の文献検索講習会を利用できます(カウンターで申し込んでください)

6 プロセスを振り返る

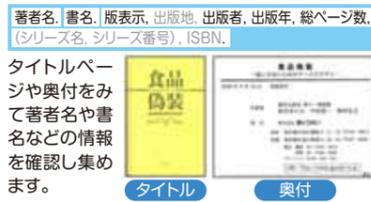
- 手順などを振り返ろう



じっくり
きたりしながら
じっくり進めよう!

5 情報を活用・発信する

- ディスカッションしよう
- プレゼンテーションしよう
- レポートを作成しよう



著者名、書名、版表示、出版地、出版者、出版年、総ページ数、(シリーズ名、シリーズ番号)、ISBN。
タイトルページや奥付をみて著者名や書名などの情報を確認し集めます。

タイトル

奥付

4 情報を分析・評価 整理・管理する

- 集めた情報を確認しよう
- 必要な情報があれば、書名などをメモしよう

探索した情報について

いつのものが(出版年など)
誰が書いているのか(著者など)
を確認して、自分のテーマにあっているか
確認しよう。
また複数の図書・情報を比べてみよう。
必要な情報や図書は、あとでレポートの参考文献リストなどに使えるように、**書名・著者名・版表示・出版者・出版年**などをメモしておこう。

いろいろな
意見があるとき
には、賛成の意見も
反対の意見も
確認しよう



情報探索やレポートを作成するときには…



パソコンコーナーは図書館の1階と2階+環境・情報科学館の2階にあります。レポートやプレゼンテーションに使った資料は、参考文献として示しましょう。

参考文献の書き方の例

桜井英博, 柴岡弘郎, 芦原担, 高橋陽介, 植物生理学入門, 三訂版, 培風館, 2001, 355p.

レポートの書き方を知りたいときには…



図書館2階には、レポートの書き方に関する図書のコーナーもあります。

←論文執筆のための資料コーナー

グループで、ディスカッションしたいときには…

図書館1階や環境・情報科学館2階のラーニングcommonsを利用できます。ホワイトボード、電子黒板、プロジェクターも利用できます。プレゼンテーションの予行演習にも、活用してください!



ひとりで静かにアイデアをまとめたいときには…



図書館の3階にあるサイレントエリアを利用できます。

図書館や
環境・情報科学館
の利用には、
Libコンシェルジュ
が便利!
No.1~No.7まで
館内やWebに
あります



特集

Pブックロウの Pick Up コーナー

図書館のホームページ
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>
 から Check it out !!



三重県立図書館連携展示

知る、行く、つながる。熊本・大分と東北「みえの災害・防災を知る」を開催

10月3日から28日にかけて、附属図書館防災関係図書コーナー横で、企画展示「知る、行く、つながる。熊本・大分と東北」を開催しました。これは、地域貢献の一環として、三重県立図書館主催の連携展示に参加したもので、平成23年から毎年行われている東北地方への復興貢献に加えて、昨年4月の熊本県と大分県の震災への復興貢献を目的としたキャンペーンです。本学では、東日本大震災や熊本地震、三重県下の地震・台風等の災害・防災に関する所蔵資料107冊と地震にちなむ錦絵「鯨絵(なまずえ)」2点(複製)を展示しました。

なお、図書館では2階に防災関係図書コーナーを常設しています。この展示を機に、防災への意識を高めていただくきっかけになればと思います。



電子ブックキャンペーン実施

今年度から導入した電子ブックの普及促進を図るため、11月から12月にかけて、附属図書館玄関ホールでのPRポスター掲示や電子ブックMaruzen eBook Library約23000点を閲覧出来る試読サービス(トライアル)を実施する等、キャンペーン活動を繰り広げました。キャンペーンの結果、沢山の方にアクセスして頂きました。今後もタイトルを充実させていきますので、是非ご利用ください。電子ブックの利用方法については、学塔137号で紹介しています。又、電子ブックの購入リクエストも随時受付中です。電子ブックは、附属図書館HPからアクセスできます。

電子ブックへのアクセスはこちら

[図書館ホームページ]→[電子ジャーナル・電子ブック]→[電子ブック]



秋の文献検索講習会開催報告

(Web of Science & EndNote basic講習会・SciFinder講習会)

11月11日から17日にかけて、秋の文献検索講習会を開催しました。

図書館職員による国内文献検索講習会、海外文献検索講習会(理系・文系)を行いました。

また、「Web of Science & EndNote basic講習会」、「SciFinder講習会」を外部より講師を招いて行いました。

秋の講習会全体では約60名の参加があり、「今まで知らなかった論文検索の方法を知ることができて良かった(WoS&EndNote講習会参加者)」「化合物を合成するやり方がわかりやすく説明されていて良かった(SciFinder講習会参加者)」などの感想が寄せられました。

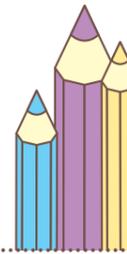
ゼミやグループ単位での講習会の申し込みは随時承っています。詳細は、附属図書館Webページをご参照ください。

情報リテラシー講習会(附属図書館Webページ)へのアクセスはこちら
 [図書館ホームページ]→[情報リテラシー教育支援]→[講習会TOP]

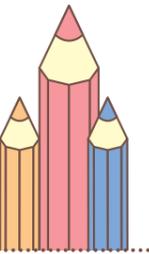


職場体験学習の受入

9月27日から29日と、10月19日から21日にかけて、久居東中学校の中学生3名と、一身田中学校国児分校の中学生1名について、職場体験学習の受入を行いました。各回共、図書館業務の概要説明を受け、実際に、図書・雑誌受入業務、閲覧サービス業務やカウンター業務、相互貸借業務を体験しました。「図書館の仕組みや本の整理の仕方、OPAC等について教えていただいたことが印象に残っています。」「本の貸出のみでなく、沢山の本の管理、電子ジャーナルの管理など幅広いお仕事があることを知りました。」などの感想が寄せられました。



From Students 三重大学図書館



時間外開館担当の職員さんに聞きました!

平日の夕方や土日に、図書館で働いてくれている学生さん(時間外開館担当職員)三人に、お薦めの図書館のサービスや資料を教えてください!



人文学部 木場優太 さん

通学の電車内やちょっとしたスキマ時間、特にすることもなくスマホをダラダラ見てしまうという方に岩波新書を勧めたいと思います。

理由は、新書本なので持ち運びやすく、かつ分量が少ないのでさほど時間をかけなくても読了できるからです。また、岩波新書には専用の棚があるので、棚をばーっと見てタイトルの面白そうな本を読むと、自分の興味ある分野に偏ることなく様々な分野の知識を得ることができます。実際に借りて数ページ読んでみて、面白く無かったらすぐに他の本と取り替えられることも図書館ならではの魅力です。

岩波新書は、図・開架・PBコーナーにあります。



生物資源学部 竹田崇広 さん

新しい学年になり、学ぶ内容もワンランク難しく、より専門的になることと思います。「先生の講義内容がうまく飲み込めなかった、板書で精一杯で内容なんて…」といったことはありませんか。そんな時におすすめなのが「マンガでわかる〜」や図解で解説しているシリーズ本です。

1回目の授業が始まる前にパラパラ〜と概要を掴んでから講義を受けると、「ああ、あの内容だなあ」と余裕を持って受けることができます。是非、活用してみたいはいかがでしょうか。

図解で解説しているシリーズには、「今日からモノ知りシリーズ」などがあります。



工学研究科 清水翔太 さん

わたしのおすすめの書籍は、地球の歩き方シリーズです。わたしは海外旅行が好きなので色々な国々の名所、遺跡や旅の仕方などの情報が豊富なこの書籍をよく利用しています。また、図書館にはほぼ全シリーズの直近の、地球の歩き方が置いてあるため、いろんな国の情報を得ることが出来ます。手にとって読んでみてその国に興味を持ったりすることもありました。海外旅行に行く予定の方や、興味のある方は図書館に立ち寄ったら是非手に取って読んでもらいたいです。

